

当院のICUに入院された患者さんへ

臨床研究へのご協力のお願い

当院の腎サポートチームは、下記の臨床研究を実施しており、あなたから得られた診療情報を利用させていただきます。本研究の対象者に当たる方で、ご自身の情報の利用を希望されない場合は、【7. お問い合わせ先】までご連絡ください。ご協力頂けない場合でも、当院の診療に関して不利益を被ることは一切ありません。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障のない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

1. 研究課題名

集中治療領域のAKI患者に対する腎サポートチームの介入の効果

2. 対象となる方

2022年1月から6月まで、もしくは2024年1月から6月までに当院のICUに入室し、AKIと診断された患者さん

3. 研究の意義・目的・方法

1). 意義・目的

急性腎障害（acute kidney injury：AKI）は集中治療領域の患者さんの50%に発症し、慢性腎臓病（chronic kidney disease：CKD）や末期腎不全（end-stage kidney disease：ESKD）へ移行しやすいことがわかっています⁽¹⁾。AKIによる腎機能低下を早期に発見し、専門家により適切な介入を行うことは、CKDやESKDへの移行を回避できる可能性が示唆されています⁽²⁾。これを受け、当院は2023年より腎臓内科医師、ICU/HCU看護師、薬剤師、管理栄養士で構成された腎サポートチームを発足し、AKIへの早期介入と血液浄化療法の回避を目的に活動しています。今回、腎サポートチームの発足前後でAKIを発症した患者さんの血液浄化療法実施率を比較、チーム介入の効果を検討します。本研究の結果により、腎サポートチームの介入の効果が明らかとなれば、チーム活動の意義の明確化と発展へ繋がり、当院の集中治療領域の医療の質の向上に寄与できると考えています。

参考文献

- (1) Vanmassenhove J, et al. Haste makes waste—Should current guideline recommendations for initiation of renal replacement therapy for acute kidney injury be changed? *Semin Dial.* 2018 May; 31(3):204-208. PMID:29635792
- (2) Lameire NH, et al. Harmonizing acute and chronic kidney disease definition and classification: report of a Kidney Disease: Improving Global Outcomes (KDIGO) Consensus Conference. *Kidney Int.* 2021 Sep; 100(3):516-526. PMID:34252450

2). 方法

腎サポートチーム発足前（2022年1月～6月）と発足後（2024年1月～6月）にICUに入室した患者さんの血液浄化両方実施率を比較します。

4. 研究に用いる試料・情報の項目

試料：なし

診療情報：血液浄化療法の実施の有無、血清クレアチニン値、時間尿量
年齢、性別、疾患名、既往歴

利用を開始する予定日：研究実施許可日以降

5. 研究実施期間

病院長許可日～2025年3月31日

6. 個人情報の取り扱いについて

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌等で公表する際は、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

7. お問い合わせ先

福岡赤十字病院 ICU 看護係長 白坂雅子
0570-03-1211（代表）

【留意事項】

本研究は福岡赤十字病院研究倫理委員会において審査・承認後、以下の研究機関の長（試料・情報の管理について責任を有する者）の許可のもと、実施するものです。

福岡赤十字病院 院長 中房 祐司